

地域研究情報資源としての 新聞の保存と利用 アジア経済研究所図書館の事例から

村井友子

日本貿易振興機構アジア経済研究所
図書館研究情報整備課長

2016年2月18日(木)

国立国会図書館関西館

アジア情報関係機関懇談会外部機関報告②

目次

- ◆ 問題提起。
- ◆ アジア経済研究所図書館の新聞コレクションの保存と利用の課題。
- ◆ 北米の研究図書館における新聞の保存と利用の取り組み。
- ◆ 今後の課題。

日本の図書館の新聞保存の問題点

- ◆ 地域研究情報資源の保存と共有化について、新聞資料を事例として問題提起。
- ◆ 国内の多くの図書館が、新聞の保存年限を設定し、年限を超えた新聞を廃棄している。



- ◆ 新聞社によるアーカイブの提供や、データベース化など、アクセスの代替手段がない貴重な新聞の消失が発生している。

新聞の保存の難しさ

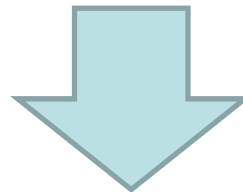
- ◆ **原紙保存**: 図書館の書架スペースの狭隘化、紙の劣化などの課題あり。
- ◆ **媒体変換**(→ **マイクロ化・デジタル化**)。保管スペースの解決と長期保存が可能に。



- ◆ **しかし**、媒体変換に多大な費用が必要なため図書館単独では予算確保・維持が難しい。

地域研究情報資源の共有化へ

- 新聞やその他膨大な資料群を形成する地域研究一次資料は放っておくと散逸・消失してしまう。



- 地域研究者と地域研究拠点図書館の図書館員が集まり、後世に残すべき研究資料を選定の上、**共同保存・共同利用**するしくみが必要である。

東南アジア逐次刊行物連携 ネットワークの役割

- ◆2004年に地域研究コンソーシアム情報資源共有化研究会発足。
- ◆2007年に東南アジア逐次刊行物プロジェクト発足
- ◆「**東南アジア逐次刊行物データベース**」を構築。
2007年度にコアジャーナルの選定と目録作成。
2013年度新聞・官報目録を追加。
- ◆東南アジア地域研究情報資源の共同保存・共同利用を話し合う場として活動を継続中。

アジア図書館の新聞コレクション

- ◆ 地域研究のコア資料として新聞の収集・保存を重視。
- ◆ 図書館内にマイクロ撮影室を設置し、国立国会図書館から技術者を招致。
- ◆ 新聞の永久保存のため、受入新聞すべてを自前でマイクロ化（**マイクロ化事業 1960年～2007年**）。
- ◆ 現在は、講読新聞のうち16紙を選定し、外注によりマイクロ化。それ以外は原紙保存。
- ◆ 上記以外にもマイクロ化し永久保存すべき新聞が多数存在する。



マイクロフィルムコレクション



新聞庫で原紙を保存

ほぼ満杯の状態

アジア経済研究所所蔵新聞の地域別内訳

◆ 開発途上国の新聞476紙を所蔵。

◆ アフリカ地域、ラテンアメリカ地域の新聞は、国内ではアジア研図書館のみが所蔵するものが多数あり。

◆ マイクロフィルムと原紙(マクロ化していない新聞)で保存。

*タイトル数はタイトルチェンジによる変遷書誌の数を含む。

地域名	タイトル数	内訳
東アジア	144	30%
東南アジア	115	24%
南アジア	56	12%
中央アジア	10	2%
中東・北アフリカ	63	13%
アフリカ	29	6%
ラテンアメリカ	25	5%
オセアニア	7	1%
ヨーロッパ	24	5%
北アメリカ	3	1%
タイトル合計	476	100%

アジア研究図書館東南アジア新聞コレクション紹介1

インドネシア 31紙所蔵

購読中の新聞

- ◆ Jakarta Post
1998.5～現在
- ◆ Kompas (マイクロ化対象紙)
2011.1～現在
- ◆ Suara Pembaruan
1987. 2 ～現在

バックナンバー・コレクション

- ◆ AB; Angkatan Bersendjata
1966.5～1998.6
国軍系朝刊紙 Maju Kerja財団発行
一部欠号あり
- ◆ Suara Karya
1971.5～1998.12
スハルト政権期の与党の機関紙
ほか

アジア図書館東南アジア新聞コレクション紹介2
タイ 11タイトル所蔵

講読中の新聞

◆ Bangkok Post

1962.1～現在

◆ Matichon = มติชน

(マイクロ化対象紙)

1992.1～現在

◆ The Nation

(The Voice of the Nation → The Nation)

1973.1～現在

バックナンバー・コレクション

◆ Phūčhatkān = ผู้จัดการ

経済紙

1993年～1999年

◆ Prachachat Thurakit =

ประชาชาติธุรกิจ 経済紙

1990.10～2013.12

ほか

アジア研究図書館東南アジア新聞コレクション紹介3 ミャンマー(12紙所蔵)

現在講読中の新聞

◆ Myanmar Alin=

(Myanmar Alin →Lou'tha Pyidhu Neizin
→Myanmar Alin)

1945.5-1962.4(欠あり) 1988.10-現在

(マイクロ化対象紙)

◆ Global New Light of Manmar

(The Working People's Daily→New Light of
Myanmar→Global New Light of Myanmar)

1967.2-現在

(マイクロ化対象紙)

バックナンバー・コレクション

日本軍占領期の新聞2紙

◆ ビルマ新聞=Biruma Shinbun

1943.1-11, 1944.2,8-11, 1945.2-3

◆ Greater Asia

1943.2-1945.4

◆ Oway

1948.1-1954.9, 1959.3-1960.3, 1960.12-
1961.8

など

新聞マイクロフィルムの利用状況

◆マイクロフィルム利用のニーズは近年拡大傾向に。

利用実績	2012年度	2013年度	2014年度
	1365リール	1565リール	1782リール

アジア研究図書館に滞在して、特定の新聞を数十年に渡り、マイクロリーダーで閲覧利用する研究者が増加。

アジ研図書館が提供する新聞情報

◆新聞データベース

Library PressDisplay (90日間アーカイビング)

DJX(旧Factiva.com) 日経テレコン

◆新聞原紙 57紙を継続受入中。

◆マイクロフィルムまたは新聞原紙で保存。

◆アジ研研究者は、インターネット上の新聞記事情報、データベース、新聞原紙、マイクロフィルムを用途に応じて使い分けている。活用方法は研究者によって様々。

米国主要大学の新聞保存状況

大学名	Cornell University Asia Collection	UC Berkley Newspapers & Microforms Library	UC San Diego Library
新聞原紙の購読	アジア諸国の100タイトルの新聞原紙を購読。 * PDFファイルでの購読を開始、一部マイクロフィルムでも購入。	約100タイトルの新聞原紙を購読。	新聞はオンライン購読限定で提供
マイクロ事業の継続状況	約10年前にマイクロ化を中止し、マイクロ化からデジタル化へ方針転換。	現在もマイクロ化事業を継続。ただし、マイクロ化の財源確保が課題。	
新聞の保管状況	・原紙: 外部倉庫で保管 ・マイクロフィルム: マスターをペンシルバニアの外部倉庫で保管。サービスコピーをキャンパス内図書館に保管し提供。	・原紙: 外部倉庫で保管。 ・マイクロフィルム: Newspaper & Microforms Libraryで900タイトルのマイクロフィルムを保管・提供。	
ヒアリング時期	2012年12月訪問	2013年10月訪問	2013年10月訪問

Cornell University Asia Collection は Echols Collection (Southeast Asia), South Asia Collection, Wason Collection (East Asia) など、アジア地域研究に関するコレクションを意味する。

Center for Research Libraries



- ◆北米を中心に大学・研究図書館によって構成される
コンソーシアム(1949年設立)。
- ◆人文社会科学系が主体。
- ◆地域研究拠点図書館のプロジェクトが多数組織化。
- ◆CRLとして資料を所蔵する一方、**世界各国の政府
刊行物・雑誌・新聞のマイクロフィルム化・電子化な
ど、研究情報資源の保存事業や電子図書館の構築
を国際的に実施。**
- ◆CRLメンバー館で電子化・マイクロ化された研究一
次資料を**共同利用=リソースシェアリング**

SEAM 東南アジアマイクロフォームプロジェクト

- ◆ CRLのThe Area Microform Projects のひとつ。
- ◆ 東南アジア地域研究拠点図書館のサブジェクトライブラリアンが集まり、東南アジア地域研究に係る一次資料の保存プロジェクトを実施。
- ◆ SEAMメンバー館が選定した東南アジア諸国の新聞をマイクロ化。

マスターのネガフィルム+メンバー館への貸出用 ポジフィルムを作成

- ◆ 東南アジア諸国の新聞をマイクロ化し、メンバー図書館間で共同利用(メンバー館にポジフィルムの貸出サービスを展開 著作権の保護期間外、または新聞社の許諾ありの条件で、新聞のポジフィルムの販売も実施)。

CRLの最新戦略1 The ICON Database

<http://icon.crl.edu/>

Center for Research Libraries
GLOBAL RESOURCES NETWORK

International Coalition on Newspapers
ICON

International Coalition on Newspapers (ICON)

Strategies to preserve and improve access to newspapers worldwide.

[Search the ICON database](#)

The **ICON database** is the most comprehensive source of information about significant newspaper collections in print, digital and micro formats. The large and growing database is designed to inform library decisions on the development, management and preservation of newspaper collections.

Current statistics: 47,723,266 issues from 171,500 publications dating from 1649–2015. See more ICON statistics and visualizations.

Funding and support for the ICON database has come from the Center for Research Libraries, the National Endowment for the Humanities (NEH), the Institute of Museum and Library Services (IMLS), and the Andrew W. Mellon Foundation.

[More information](#)

ICON digitization initiatives

ICON's directory of digitization efforts around the globe.

ICON Reports and Assessments

Critical analysis of news publication, dissemination, and preservation initiatives

- News: Mellon Foundation Funds CRL Archive Analysis
- Assessment: Online Availability of African Newspapers
- Survey: Access to news databases
- Analysis: Preserving News in the Digital Environment

[About ICON](#)

Center for Research Libraries
www.crl.edu
6050 S. Kenwood Avenue
Chicago, IL 60637-2804 USA
Phone: (800) 621-6044 or (773) 955-4545
Fax: (773) 955-4339

ICON catalog
ICON statistics
ICON FAQs
ICON feedback
ICON home

About CRL
Membership
Collaborations
Collections
Services

CRLの最新戦略1 The ICON Database

- ◆世界の主要図書館で所蔵する紙媒体・デジタル・マイクロフォーマットの新聞の所在情報を検索できるデータベースを目指している。
- ◆北米の主要研究図書館のほか、海外の図書館、新聞情報サービスのプロバイダー（[Google News](#), [Europeana Newspapers](#), [Readex-World Newspaper Archive](#)など）や新聞社が提供（有料・無料両方）するデジタルアーカイブの所在情報も収録している。
- ◆世界中の図書館が新聞の利用と保存（新聞原紙orDB購読、マイクロ化orデジタル化or廃棄など）の方針決定に有効な情報を提供することを目指している。
 - * ただし、現在はまだ発展途上の段階にある。

CRLの最新戦略2 World Newspaper Archive

<http://www.readex.com/content/world-newspaper-archive>

Home

Readex
A Division of NewsBank

COLLECTIONS BLOG ABOUT NEWS CONTACT [LOG IN THROUGH YOUR LIBRARY](#)

Home » Collections » International Studies » World Newspaper Archive

World Newspaper Archive

Created with the Center for Research Libraries, a leading newspaper repository


“...of huge value to historical researchers in many different fields of the humanities and social sciences.”
—Kátia Couto, Department of History, Universidade Federal do Amazonas-UFAM

Overview

Representing the largest fully searchable collection of historical newspapers from around the globe, the *World Newspaper Archive* will advance research and offer opportunities for fresh insight across wide-ranging academic disciplines. This expanding online resource was created in partnership between Readex, a division of NewsBank, and the Center for Research Libraries (CRL)—one of the world’s largest and most important newspaper repositories—and

• [More](#)

African Newspapers, 1800-1922

 This groundbreaking online collection provides more than 60 searchable African newspapers published in the 19th and early 20th centuries. Featuring English and foreign-language titles from Angola, Ghana, Guinea-Bissau, Kenya, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mozambique, Namibia, Nigeria, Sao Tome and Principe, Sierra... [Learn more.](#)

Print Email Share

Request a Trial or more information 1.800.762.8182

- Quick Facts & Overview
- Download Flyer (PDF)
- Reviews
- Accolades
- Advisory Board
- Title List

Related Articles

Finding Fatalism and Overconfidence in a Cruel Port: The Bubonic Plague’s First Appearance in Brazil

Slow Reading the News: Gandhi’s Philosophical Experiments with

CRLの最新戦略2 **World Newspaper Archive**

- ◆CRLがReadex社(NewsBank社の傘下)と連携し、米国と世界の歴史新聞(19世紀~20世紀前半が中心)アーカイブデータベース(有料)を構築。
- ◆CRLのメンバー図書館が所蔵する新聞のマイクロフィルムと原紙を電子化。
- ◆現在はラテンアメリカ、サブサハラ、南アジア関係の新聞が搭載されている。今後は東南アジア、中東、東・中央ヨーロッパにも拡大。

おわりに

- ◆ 日本の現状だけでなく、世界の動向にもアンテナを伸ばしながら、新聞の保存と利用について検討していく必要がある。
- ◆ 日本の研究機関と地域研究拠点図書館で**日本版CRL=地域研究情報資源の共同保存・共同利用**を実現できないか？
- ◆ 今後の方針案
 - ① DJX(FACTIVA)収録紙、新聞社や海外の研究拠点でデジタルアーカイブが提供されている新聞は、永久保存の検討対象外とする。
 - ② 永久保存が必要な新聞を複数の研究拠点のライブラリアンと地域研究者で選定。
 - ③ 選定新聞のマイクロ化またはデジタル化(**その財源確保が課題**)。